

春夏秋冬

所長 田沢文章

おじさん

「おじさん。家へ連れてって！」

今まで、利用者の方からは「所長さん」または「兄さん」と呼ばれていたのですが、最初は誰のことを言っているのかわかりませんでした。周りを見渡して、誰もいないことがわかると、私がおじさんである事がわかりました。

「おじさん」と呼んだ方は認知がある八〇歳代後半のおばあちゃんです。

私は確かに五〇歳を過ぎているので、おじさんに間違いはありません。それでも年長者からの呼称は「兄さん」位がいいなと思う、「おじさんではなく兄さんだよ」と云ったら、「わかった。おじさん」と念押しされました。

カラオケと年齢

木曾寮では、毎月一回、その月の誕生者を祝う誕生会を昼食時に行なっています。誕生者には、職員手書きのカードと花束、記念品が贈られます。

五月の誕生会では、木曾寮最年長の方が百歳を迎えられました。明治生れで、激動の時代を経験してきた方です。

誕生会では食事の後にカラオケを行います。カラオケでは歌う曲によって年代が分かると、よく言われます。

私は以前の誕生会で「青い山脈」を汗をかきながら一生懸命歌いましたが、今回、百歳の方は「木曾路の女」を三番まで、さりげなく上手に歌われました。

長生きの秘訣

木曾寮の献立は、ベテランの管理栄養士が利用者の喜ぶ顔を思い浮かべながら作成し

ます。年長者に出す食事は一食平均四五〇キロカロリー程で、成人よりはかなり抑えめです。

食事では、一食ごとに検査があり、職員一名が利用者と同じ食事を食べて、量の加減、塩の加減等を確認し記録していきます。

私も月に一回の検査があり「これはすごいボリュームだな」と思う位の食事が出ることもあります。しかし利用者は意外にも、結構な量の食事を平気で平らげたりします。

長生きの秘訣は、一日三回の食事をしっかりと摂れる事だとすると、午前と午後のおやつもしっかりと摂取できている私などは、いったい、いくつまで生きられるのか…：本当に心配です。

木曾寮で勤務していると、いろいろな事を経験することが出来ます。

皆様、これからも益々元気に生活してください。



今回は私もお手伝い ほう葉巻き作り



にぎやかな外食風景